



石川の土地改良

第632号

2016.9.12発行

石川県土地改良事業団体連合会



稲刈り体験（金沢市八田町）

残暑お見舞い申し上げます

平成二十八年 九月

石川県土地改良事業団体連合会

会 副	長 同	西 酒	村 井	徹 次	理 同	山 不	野 嶋	之 豊	義 和
専 務	理 事	梶 小	林 谷	秋 隆	同 同	宮 本	元 屋	彌 愛	陸 夫
理	事	泉 山	辺 本	善 満	同 同	丸 津	山 田	愛	壽 夫
	同	杉 矢	田	芳 栄	代 表	小 相	林 川	昶 貞	達 夫
	同	和	田	富 慎	監 同	外	職	貞 一	重 同

CONTENTS

●平成28年度第1回理事会	1
●参議院選挙に寄せて	3
●農業農村整備の集い	3
●本会が合同で要望活動	3
●農業農村整備事業関係予算	
平成28年度第二次補正予算及び平成29年度概算要求の概要	4
●受益農地管理強化委員会・管理運営体制強化委員会	7
●石川県農業農村整備事業推進協議会通常総会	7
●いしかわ多面的機能発揮推進組織通常総会	8
●いしかわ小水力等発電推進協議会通常総会	8
●第39回全国土地改良大会石川大会について	9
●土地改良区役職員研修会	10
●換地委員等実務研修会	10
●土地改良区体制強化事業複式簿記促進研修会	
土地改良区体制強化事業財務会計実践向上研修会	11
●第3回農業水利施設を活用した小水力等発電事例発表会	11
●河北潟太陽光発電所「メガソーラーひまわり」完工式	12
●いしかわ多面的機能発揮推進協議会だより	
花植え・稲刈り体験〔グリーンネット八田〕	12
●“21創造運動”いしかわだより	
軽海用水清掃ボランティア〔水土里ネット小松東部〕	13
花いっぱい運動〔水土里ネットかほくがた〕	13
ひまわり村種まき・フェスティバル〔河北潟水土里ネットかんとく〕	13
柴山潟堤防クリーン作戦〔水土里ネット加賀三湖・水土里ネット加賀〕	14
用水の歴史を紙芝居で〔水土里ネットかわらいち〕	14
七ヶ用水探検ツアー〔水土里ネット七ヶ用水〕	14
●「疏水のある風景」写真コンテスト2016 作品募集のお知らせ	15
●平成28年度「ため池のある風景」写真コンテスト 作品募集のお知らせ	15
●平成28年度 研修会等開催予定	15
●非補助農業基盤整備資金のご案内	16
●農業基盤整備資金の金利改定について	16
●人事異動（6月17日付、7月1日付）	16
●コラム「おにぎりパワー」	17
●連合会日誌（4月～8月行事）	18

平成28年度 第1回理事会開催

7月26日、本会の第1回理事会が、西村会長をはじめとする理事10名と監事3名の出席のもと、来賓に石川県から前寺農林水産部次長を迎え、石川農林会館で開催された。

はじめに西村会長が挨拶に立ち「先の参院選の与党大勝を踏まえ、安部首相がとりまとめを行う経済対策では、農産物の輸出拡大のための施設整備や、TPP対策を含む生産基盤の強化など、攻めの農業実現に向けた投資が柱になると言われており、農業の成長産業化に向け、農地の大区画化・汎用化など土地改良予算の積み増しが見込まれる。本会としては、農業農村整備に関連する事業を、県並びに会員と連携を図りながら積極的に取り組んでいきたい」と述べた。

続いて前寺農林水産部次長から来賓挨拶の後、議案審議に入った。



今回の理事会では、平成27年度事業報告、平成27年度一般会計並びに特別会計収支決算、諸規程の一部改正、特定個人情報等取扱規程の制定について審議が行われ、いずれも原案どおり可決・承認された。

理事会に先立って監事会も同日に開催され、本年度監査計画等の審議及び平成27年度決算監査が実施された。

[平成27年度事業報告]

1. 運営指導と研修

1) 研修

土地改良区役職員研修会、換地関係研修会を開催したほか、ブロック及び全国単位の研修に参加した。

2) 土地改良区の運営及び施設管理に関する指導

(1) 各種センターの運営

① 換地センターの活動

事業費 500万円

県下の換地業務の円滑な処理の確立を図るため、各種の研修等を実施したほか、換地業務に関連する地区指導、農地利用集積に関する専門的な委員会・会議を設置して推進地区の指導を実施

② 土地改良管理指導センターの活動

事業費 401万円

土地改良区の運営、施設の診断、管理や維持管理に関して助言、指導援助を実施

・施設の維持管理への対応 定期診断 23施設

・非補助土地改良事業推進支援 3土地改良区

・相談指導 13件

(2) 土地改良区役職員研修

土地改良区の組織力強化を図るため研修を実施

(3) 安全対策

土地改良施設での事故に備えた損害賠償責任保険の契約事務

(4) 土地改良区賦課金計算

会員3土地改良区の組合員10,630人分の賦課に係る電算処理業務を受託

3) 土地改良施設維持管理適正化事業

①適正化事業 事業費 3億円 18団体 52施設

4) 土地改良負担金対策事業

- ① 水田・畑作経営所得安定対策等支援事業 償還のみ 7団体
- ② 経営安定対策基盤整備緊急支援事業 1土地改良区 助成金 213万円

2. 技術的支援

1) 調査設計受託及び換地業務

(事業受託) (補助事業)

- 調査設計受託 2億9,148万円
- 換地業務受託 1億4,621万円 農用地等集団化事業 891万8千円

2) 積算システムの保守、データの提供とそのサポート

7土地改良区 15市町

3) ISO9001運用・管理

会員などが実施する農業農村整備事業を着実に推進するため、業務品質の向上を目指すべく、ISOを活用することで、「顧客の信頼を得る成果品の提供」、「常に技術力の向上と業務の効率性に努める」を定め、成果品のより一層の充実と業務の効率化を図った。

4) 農地・施設情報管理システム

水土里情報利活用促進事業において、入力した県下約114万筆の農地や道水路情報、ため池等の農業用施設情報など幅広い利活用を図るためにシステムの運用を実施した。

3. 情報の提供及び広報活動

1) 機関誌の発行「石川の土地改良」年3回発行 各800部

配布先 会員と県内外の関係機関

2) 各種図書等の配布

季刊「新・田舎人」、「日本の米カレンダー」など

3) 主な行事

- (1) 第38回全国土地改良大会（青森大会） 平成27年10月15日
- 新青森県総合運動公園「マエダアリーナ」 本県からの参加者数 54名

- (2) 農業農村整備の集い
- 砂防会館別館シェンバツハ・サポー
- 平成27年6月29日 平成27年11月27日
- 本県からの参加者数 9名 本県からの参加者数 16名

(3) 21世紀土地改良区創造運動の推進

土地改良区が果たしてきた役割、機能を改めて振り返り、多面的機能の発揮など国民が期待する新たな役割の実現に向けて、土地改良区が地域の人達と一緒に考えて取り組む運動を支援。

4. 要請活動

事業制度の充実など、施策提案・要望等を農林水産省、関係国会議員に実施。

[平成27年度収支決算]

▽一般会計 収入 13億4,421万円 支出 10億4,380万円

[諸規程の一部改正等について]

石川県換地センター設置運営規程の一部改正について
農地利用集積推進対策会議細則の一部改正について
石川県土地改良管理指導センター設置運営規程の一部改正について
石川県土地改良事業団体連合会土地改良施設維持管理適正化資金拠出約款の一部改正について

[石川県土地改良事業団体連合会特定個人情報等取扱規程の制定について]

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年5月31日法律第27号、最終改正：平成28年3月31日法律第15号）が施行されたことに伴い制定。

参議院選挙に寄せて



私は、この度の参議院選挙におきまして、当選の栄に浴することが出来ました。

今後は、土地改良に関係する方々が心を一つにしていたいただいた結果を胸に刻み、皆様のご期待に応えるよう頑張

張ってまいります。

さて、私は、全国を回り皆様から色々なご意見を伺ってまいりましたが、農政新時代を拓いていく上で、その基盤となる農地と水利施設の保全と機能の向上に不可欠な予算の確保が必要であるとの認識を深くしたところです。

私は、「土地改良は日本の命綱」であることを強く訴えてまいりました。これからも固い決意の下、微力ではありますが、皆様とともに活動してまいります。

今後とも皆様のご理解とご支援、そしてご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、貴県土地改良事業団体連合会の益々の発展と、会員の皆様お一人おひとりのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

平成28年8月吉日

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問
参議院議員 進藤 金日子

農業農村整備の集い

5月30日、全国水土里ネットの主催で、シェーンバツハ砂防（東京都千代田区平河町）において農業農村整備の集いが開催され、全国から関係者1,000余名が参集した。

はじめに、二階俊博全土連会長の開会挨拶、加藤寛治農林水産大臣政務官、稲田朋美自民党政務調査会長が祝辞を述べた。その後、事例発表と



本会 西村会長によるガンバロウ三唱



二階全土連会長の挨拶

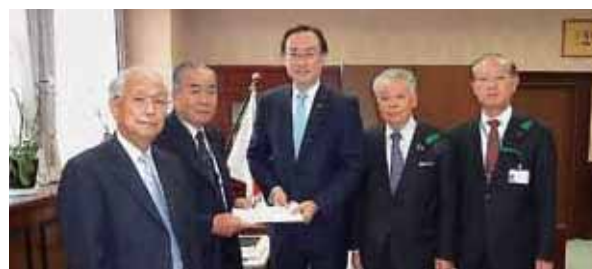
続き、要請文案が満場一致で採択された後、本会の西村会長によるガンバロウ三唱で閉会した。

集いの終了後、北陸四県土連協議会で関係国会議員、農林水産省に強力な要請活動を行った。

本会が合同で要望活動

本会は、石川県農業農村整備事業推進協議会と合同で4月27日、農林水産省、財務省並びに関係国会議員に下記の要望活動を実施した。

1. 農業農村整備事業の着実な推進について
2. 日本型直接支払推進交付金の活用について



岡田財務副大臣

平成28年度 農業農村整備事業関係予算第二次補正予算が閣議決定

平成28年度農業農村整備事業関係予算の第二次補正予算額が1,752億円（対前年度予算比177%増）に決定した。主な内容は下記の通り。

- 平成28年度 第二次補正予算（農業農村整備事業関連） 【1,752億円】（177%増）
 - 1) 農業農村整備事業、農地耕作条件改善事業 222億円
 - 2) TPP対策関連予算 1,030億円
大区画化、汎用化の推進、水田の畑地化、畑地樹園地の高機能化等の推進。
 - 3) 防災・安全対策 500億円
農業水利施設の洪水被害防止対策、耐震化対策の推進。

平成29年度 農業農村整備事業関係予算概算要求の概要が決定

農林水産省は、8月31日、平成29年度農業農村整備事業関係予算の概算要求額を4,584億円（対前年度予算比120%）に決定した。主な内容は下記のとおり。

- 平成29年度 農業農村整備事業関係予算 【4,584億円】（120%増）
(単位：億円)

区 分	H28年度 当初予算額	H29年度 要求・要望額	対前年度比
農業農村整備事業	2,962	3,555	120.0%
農山漁村地域整備交付金（農業農村整備分）	735	882	120.0%
農地耕作条件改善事業（非公共）	123	147	120.0%
計	3,820	4,584	120.0%

● 重点事項

※各事項の下端（ ）内は、平成28年度当初予算額

- 1 担い手への農地集積・集約化による構造改革の推進
 - (1) 農地中間管理機構による農地集積・集約化 (農業農村整備事業で実施)
 - ① 農地の大区画化等の推進<公共> 1,210億円の内数
農地中間管理機構による農地の集積・集約化で農地の大区画化・汎用化等を促進 (913億円の内数)
 - ② 農地耕作条件改善事業 147億円
(123億円)
- 2 水田フル活用と経営所得安定対策の着実な実施 (農業農村整備事業で実施)
 - ① 水田の畑地化・汎用化の推進<公共> 1,210億円の内数
高収益作物への転換を促すため、平場・中山間地域などの水田の畑地化・汎用化を支援 (－)
- 3 強い農林水産業のための基盤づくり
 - (1) 農林水産基盤整備（競争力強化・国土強靱化）
 - ① 農業農村整備事業<公共> 3,555億円
(2,962億円)
 - ② 農地耕作条件改善事業（再掲） 147億円
(123億円)
 - ③ 農山漁村地域整備交付金<公共> 1,280億円
(1,067億円)

4 人口減少社会における農山漁村の活性化

(1) 日本型直接支払の実施

① 多面的機能支払交付金 503 億円
 活動組織が農地を維持していくために行う地域活動や、地域資源の質的向上を図る活動に交付金を交付 (483億円)

② 中山間地域等直接支払交付金 270 億円
 中山間地域等条件不利地域で農業生産活動を継続して行う農業者等に交付金を交付 (263億円)

(2) インバウンドの推進と農山漁村の振興

(農山漁村振興交付金で実施)

① 農山漁村資源を活用した地域活性化（「農泊」の推進） 150 億円の内数
 農泊を推進するため、受入体制の整備、ホームページ等の多言語化、農林漁業体験の企画・実施、古民家等における小規模な施設改修等を支援 (80億円の内数)
 （このほか、国有林において、修景伐採、木道整備等を実施）

② 農山漁村振興交付金 150 億円
 都市と農山漁村の共生・対流の促進や地域の活性化、薪炭・山菜など地域資源の活用等による山村の活性化、福祉農園の開設等による農福連携の推進、定住・地域間交流を促進するための施設等の整備を支援 (80億円)
 うち山村活性化支援交付金 10 億円 (8 億円)

③ 荒廃農地等利活用促進交付金 4 億円
 荒廃農地等を再生利用するための雑草・雑木除去や土作り等の取組を支援 (2 億円)

(3) 都市農業の機能発揮

① 都市農業機能発揮対策事業 3 億円
 都市農業の多様な機能の発揮を促進するため、課題の調査を実施するほか、都市農地の周辺環境対策を支援 (2 億円)

(4) 再生可能エネルギーの導入促進

① 農山漁村活性化再生可能エネルギー導入等促進対策 7 億円
 再生可能エネルギー事業によるメリットを地域の農林漁業の発展に活用する取組や農業水利施設を活用した小水力発電等に係る調査設計等を支援 (6 億円)
 うち農村振興局分 5 億円 (5 億円)

(5) 鳥獣被害防止対策の推進

① 鳥獣被害防止総合対策交付金 110 億円
 鳥獣被害対策実施隊の増設・捕獲活動の実施、侵入防止柵の設置、捕獲技術高度化施設や処理加工施設の整備、ジビエ活用の推進等を支援 (95億円)

農業農村整備事業（公共） 【355,471（296,226）百万円】

● 対策のポイント

農業競争力強化のための農地の大区画化・汎用化、新たな農業水利システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設の長寿命化・耐震化対策、ため池の管理体制の強化等を推進する。

< 主な内容 >

1. 農業競争力強化対策 120,957（91,251）百万円

大区画化・汎用化等の基盤整備を実施し、農地中間管理機構とも連携した担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化を推進。また、パイプライン化やICTの導入等により、水管理の省力化と担い手の多様な水利利用への対応を実現する新たな農業水利システムを構築し、農地集積の加速化を推進。

2. 国土強靱化対策 234,514（204,975）百万円

基幹的な農業水利施設等の耐震診断やハザードマップの作成、耐震化工事、ため池の監視・管理体制の強化、農村地域の洪水被害防止対策等を実施。

老朽化した農業水利施設の点検・診断の結果をデータベース化し、補修・更新等を適時・的確に実施。

〔国費率、補助率：2／3、1／2 等〕
 事業実施主体：国、都道府県 等〕

農山漁村地域整備交付金（公共）【127,980（106,650）百万円】

● 対策のポイント

地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策を支援する。

<主な内容>

1. 都道府県又は市町村は、農山漁村地域整備の目標等を記載した農山漁村地域整備計画を策定し、事業を実施。
2. 農業農村、森林、水産の各分野において、農山漁村地域の生産現場の強化や防災力の向上のための事業を実施。また、これと一体となって事業効果を高めるために必要な効果促進事業を実施。
農業農村分野：農用地整備、農業用排水施設整備 等
森林分野：予防治山、路網整備 等
水産分野：漁港漁場整備、漁村環境整備、海岸保全施設整備 等
3. 農地整備事業（通作条件整備）
条件不利地域で実施する農道の保全対策について、同地域における「保全対策型」の受益面積要件を50haから30haとし、農道の保全対策の計画的な整備を実施。
4. 地域用水環境整備事業（小水力発電）
施設整備について、効率性・経済性を高めるための実施要件を追加し、既設発電施設の長寿命化・効率化を図るための部分改修を実施。

〔 国費率1／2等 〕
〔 事業実施主体：都道府県、市町村等 〕

農地耕作条件改善事業（非公共） 【14,729（12,274）百万円】

● 対策のポイント

農地中間管理事業の重点実施区域等において、農地中間管理機構と連携しつつ、担い手への農地集積の推進や高収益作物への転換を図るための計画策定や基盤整備、営農定着に必要な取組を一括支援。

<主な内容>

1. 地域内農地集積型（地域内の農地集積を計画的に実施する場合）
 - 定額助成：区画拡大、暗渠排水、水路等の更新整備、先進的省力化技術導入支援等の条件改善促進支援等
※中心経営体に集約化（面的集積）する農地については、定額助成の単価を2割加算
 - 定率助成：土層改良、農作業道、農地造成、管理省力化支援、品質向上支援、営農環境整備支援、地形図作成等の条件改善促進支援等
2. 高収益作物転換型（農地集積を図りつつ、高収益作物への転換を図る場合）
基盤整備に加え、販売先の確保や営農定着等に必要な支援を計画策定から一括支援。「1. 地域内農地集積型」の事業内容に加え、以下の取組が可能。
 - 定額助成：プラン作成に係る調査・調整、農産物の需給動向の把握、技術習得方法の検討と実践、試験販売等の経営展開の支援、現場での研修会開催等
 - 定率助成：実証展示ほ場の設置・運営、導入1年目の種子・肥料等への支援等

※事業の特徴

- (1) 事業の実施区域は、農振農用地のうち農地中間管理事業の重点実施区域、本事業の実施により重点実施区域に指定されることが確実と見込まれる区域
- (2) 事業実施年度に入ってから採択申請が可能（複数回受付）、農地中間管理機構から国への直接申請も可能
- (3) 必要なハードとソフトを組み合わせ、最大5年（ハードは最大3年）、総事業費は10億円未満を支援
- (4) 農地中間管理機構との連携概要を策定し、事業を実施

〔 補助率：定額1／2等 〕
〔 事業実施主体：農地中間管理機構、都道府県、市町村、土地改良区、農業法人等 〕

受益農地管理強化委員会 管理運営体制強化委員会を開催

6月21日、石川農林会館において平成28年度の石川県換地センターが行う受益農地管理強化委員会及び、石川県土地改良管理指導センターが行う管理運営体制強化委員会が開催された。

はじめに、各センターにおいて本会の小林専務理事が委員長に選任され、挨拶の後、各委員会の議事へと移った。

換地センターでは、北陸農政局土地改良管理課前田課長より「土地改良区体制強化事業が新しく始まり、事業主体等に対する換地事務指導に加え、財産管理制度の活用について検討や指導の内容を今回の事業に取入れている。また、担い手への農地集積を図るため、農地中間管理機構と連携したほ場整備事業を実施することが必要と考えている。今後とも、換地事務の円滑な業務遂行のために指導、助言をお願いしたい。」と挨拶された。

管理指導センターでは平成27年度事業報告として、定期診断23施設、要請診断63施設の計86施設診断実績や適正化事業によるポンプや水路の補修など18団体52施設300,000千円の事業を実施したことが報告された。また、平成28年度事業計画については、40施設の定期診断実施計画と適正化事業の27団体55施設287,000千円の実施計画が説明された。



石川県農業農村整備事業推進協議会 通常総会開催



5月25日、石川農林会館において、平成28年度石川県農業農村整備事業推進協議会通常総会が開催された。

総会には、会員の市町、土地改良区のほか、来賓として県農林水産部農業基盤課前川久義課長、県環境部水環境創造課浅田耕司課長並びに県土連小林善隆専務理事が出席した。

会長の杉本栄蔵中能登町長から、熊本地震についてのお見舞いの言葉に続き、T P P関連施策大綱に基づく体質強化対策に対して「攻めの農林水産業」を展開すべきとした上で、「農業農村整備事業では、『農業競争力強化』のための農地の大区画化・汎用化、『国土強靱化』のための農業水利施設の長寿命化・耐震化対策等を推進し、強い

農業農村の実現を目指すため、土地改良長期計画を国が策定している。本協議会としても、会員の皆様と一丸となり、これらの施策の実現に向け邁進したい。また、県並びに県土連の一層のご支援をお願いしたい」と挨拶があった。

議案審議では、平成27年度事業報告及び収支決算、平成28年度事業計画及び予算案とこれに係る経費の負担基準及び納入方法案、役員の選任の6議案が上程され可決承認された。

議案審議のあと、県農業基盤課並びに水環境創造課の各担当者から農業農村整備事業関係の予算状況と各事業の実施状況及び今後の実施方針について説明があった。

【役員】

会長	中能登町長	杉本 栄蔵
副会長	加賀市長	宮元 陸
同	志賀町長	小泉 勝
監事	輪島市農林水産課長	中山 隆
同	志賀町農林水産課長	北 富美夫
同	能美市農政課長	小坂 清俊

いしかわ多面的機能発揮推進組織 第10回通常総会開催

5月16日、県庁において、平成28年度いしかわ多面的機能発揮推進組織第10回通常総会が開催された。

開会に当たり、小林会長（本会専務理事）から「平成19年度に地域協議会として設立されて早や10年目を迎え、会員の皆様と連携して活動組織への指導、助言等の支援を行ってきました。県内では年々活動組織が増え、現在588組織が活動に取組まれており、本対策が着実に地域に根付いていることが伺えます。『景観十年、風景百年、風土千年』と言われるように、いかに自然を守り、形成していくかということに難しさがああり、この事業が一助になればと願っています。今後、農村環境や地域資源の維持保全に資する活動を支援して参りたい。」との挨拶があった。

議案審議では、平成27年度事業報告及び収支決算、平成28年度事業計画、規約・諸規程の改正等のほか、平成28年度より推進事業が「多面的機能支払交付金」から「日本型直接支払推進交

付金」へ組替されたことによる支払交付金減額に伴う推進組織事務費等の予算削減案など、5議案がいずれも可決承認された。また、組織名を「いしかわ多面的機能発揮推進協議会」に変更した。

最後に、西川副会長（石川県農林水産部里山振興室長）より、「引き続き、地域共同による農地・農業用施設の資源の保全や、農村環境の保全活動に対し、活動組織が円滑に取り組めるよう県としても支援して参りたい。」と閉会の挨拶があった。



いしかわ小水力等発電推進協議会 第4回通常総会開催

6月17日、石川県土地改良会館において、平成28年度いしかわ小水力等発電推進協議会第4回通常総会が開催された。



開会に当たり、小林会長から、「本協議会の設立前に2土地改良区で小水力発電施設が稼働していたが、昨年度末から来年度にかけて3土地改良区で小水力発電施設や太陽光発電施設が完成する。いずれにしても、再生可能エネルギーを利用して発電、売電することで、土地改良区の運営、施設の管理費に充当出来ることは、土地改良区にとって有益である。」との挨拶があった。

議案の審議では、平成27年度の事業報告及び収支決算、平成28年度の事業計画、これに係る予算案、年会費案の全5議案が可決承認された。

熊本地震義援金へのご協力ありがとうございました。

このたびの熊本地震で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方へ心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の日も早い復興を心より願っております。

本会では、被災地を支援したいという全国土地改良事業団体連合会の呼びかけに賛同し、会員土地改良区の皆さまへ義援金の協力をお願いしました。その結果、多くの皆さま方からご賛同いただき、多くの義援金が集まりました。本会分50万円と合わせた170万円余りを、全国土地改良事業団体連合会を通じて、被災された地域へお届けしました。

皆様の温かい心遣いに厚くお礼申し上げます。

本会にお寄せいただいた義援金

45土地改良区及び本会 1,758,600円（平成28年6月30日現在）

第39回全国土地改良大会石川大会 成功に向けて準備が進む

来月、10月25日、金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで「水土里の明日を築く土地改良 今こそ未来へつなぐ」をテーマに第39回全国土地改良大会石川大会が開催される。

農業・農村の重要性をより多くの方々に認識してもらい、その基盤となる土地改良事業の発展と美しく豊かな村づくりの推進を目指すものである。

県内外の土地改良関係者約4,000名の参加が予定されており、大会の成功に向けて大会事務局のスタッフを中心に準備が進められている。



土地改良会館に掲げられた懸垂幕

○第1回実行委員会を開催

6月8日、石川県土地改良会館に於いて、第39回全国土地改良大会石川大会第1回実行委員会が開催された。

冒頭、18名の委員の互選により石川県土地改良事業団体連合会西村徹会長を委員長に選任し、大会事務局から提出された基本計画案を審議、質疑応答の後に承認した。



第1回実行委員会

大会式典 13:00~16:00

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 開会宣言 | 9 基調講演 |
| 2 国歌斉唱 | 10 北陸の優良地区事例紹介 |
| 3 開催県挨拶 | 11 大会宣言 |
| 4 主催者挨拶 | 12 次期開催地紹介(静岡県) |
| 5 歓迎のこたば | 13 大会旗引継ぎ |
| 6 来賓祝辞 | 14 次期開催地挨拶 |
| 7 来賓紹介 | 15 閉会挨拶 |
| 8 土地改良事業功績者表彰 | |

オープニングセレモニー 12:20~12:55

- 石川県紹介映像放映
- 民謡「山中節」ほか
- 加賀鳶「梯子のぼり」

交歓会 17:00~19:00

- 参加予定人数：約800名
- 場所：ホテル日航金沢
4階 鶴の間

事業視察 10月26日

- 加賀・能登など
県内4コース

土地改良区役職員研修会開催

8月9日、本会は金沢市内において、土地改良区役職員研修会を開催し、県内33土地改良区等から67名の役職員が出席した。

はじめに、北陸農政局土地改良管理課の前田仁課長から「土地改良区を巡る情勢について」と題し、現代社会の情勢を踏まえた農業や土地改良区の在り方などについて講義があった。続いて、農林漁業団体職員共済組合の福田一夫事務システム部長から「農林年金制度完了スキームの方向について」と題し、平成31年度までに、制度完了を目指していることなどの説明があった。また、北陸農政局農村振興部の田中龍太郎部長から、「新たな土地改良長期計画（計画案）について」と題



して講義が行われ、地域力の向上や担い手集積率8割を目標としている旨説明があった。



北陸農政局農村振興部土地改良管理課
前田課長



農林漁業団体職員共済組合事務システム部
福田部長



北陸農政局農村振興部
田中部長

換地委員等実務研修会を開催

石川県換地センターは、平成28年度換地委員等実務研修会を県下3会場（白山市、輪島市、七尾市）で8月3日、5日、9日に開催した。

この研修は、土地改良区体制強化事業実施要綱・同要領に基づき、換地等技術向上研修として、事業実施地区の換地委員、事業予定地区の準備委員、事業推進委員、地域のリーダー等を対象とした研修で117名の参加があった。

研修では、石川県農林水産部農業政策課から講師を招き「農地中間管理事業について」の説明を受け、将来の農地集積に対する知識を深めた。換地センターからは、換地のあらましや基礎知識、換地設計基準、土地評価、換地計画原案作成等換地委員・評価委員で行う業務を中心とした研修が行われた。

参加者からは、地区の換地作業において日頃



疑問に感じている点や、今後換地を進めて行くに当たっての留意点など積極的な質疑がなされ、換地への理解を深めた。

平成28年度土地改良区体制強化事業複式簿記促進研修会 平成28年度土地改良区体制強化事業財務会計実践向上研修会 開 催

8月25日、26日、石川農林会館において、全国土地改良事業団体連合会主催の「平成28年度土地改良区体制強化事業複式簿記促進研修会」及び「平成28年度土地改良区体制強化事業財務会計実践向上研修会」を開催し、会員21土地改良区及び県の職員45名が出席した。

はじめに、全国土地改良事業団体連合会中央換地センター田村参与が挨拶し、講義に移った。

1日目は、全土連、北陸農政局、県の担当者より、県内の複式簿記の取組状況、簿記の基礎知識、会計基準、資産評価、減価償却の仕組みなどについて説明があった。2日目は、全土連より外部監査契約、内部点検実務について、(株)日本政策金融公庫からは非補助土地改良事業活用実務につ

いて説明があった。また、複式簿記を導入済みの小松東部土地改良区から取組事例紹介があった。

研修を終えて、参加者から複式簿記は理解しにくいので毎年継続して研修会を開催して欲しいとの意見があった。



農業水利施設を活用した小水力等発電事例発表会

7月26日、北陸管内の各県小水力等発電推進協議会などが主催、北陸農政局が後援する「第3回農業水利施設を活用した小水力等発電事例発表会」が新潟県土地改良事業団体連合会で開催され、北陸4県や市町村、土地改良区など関係者約86名が参加した。

主催者を代表して、新潟県農業用水小水力発電等推進協議会の山我森實会長並びに後援者の北陸農政局農村振興部地域整備課岡本佳久課長が挨拶し、小水力発電の先進地である北陸管内で、今後更なる再生可能エネルギー導入の促進が加速することに期待を寄せ、発表会へ移った。

内容は下記のとおり。



加賀三湖土地改良区の事例発表

内 容	発 表 者
【情勢報告】 小水力等発電に関する情勢報告	農林水産省農村振興局整備部水資源課 課長補佐 原 田 正 人 農林水産省農村振興局整備部地域整備課 課長補佐 阪 元 浩 貴
【事例発表】 ○雑水山第2発電所 実施経緯と現在の運用状況 ○小水力発電の維持管理について ○加賀三湖発電所の建設について ○非かんがい期における発電水利権の取得について	津南町地域振興課 小矢部川上流用水土地改良区 加賀三湖土地改良区 福井県小水力発電推進協議会

河北潟太陽光発電所 完工式 ～「メガソーラーひまわり」が始動～

8月31日、河北郡津幡町の井上コミュニティプラザにおいて「河北潟太陽光発電所」完工式が行われ、農政局、県、市町をはじめとする関係者約80名が出席した。

発電所は、河北郡内灘町湖西の3.7haの敷地に7,904枚のパネルが設置されたもので、全国の土地改良区が運営する施設の中で最大規模となる。年間発電量は一般家庭の約500世帯分の電気量に相当する約1,700MWhで、管理主体の河北潟干拓土地改良区は、発電された全電力を北陸電力へ売電し、その収入をポンプ施設

などの維持管理費に充てることとしている。これにより、農家負担を軽減するとともに、農地へ安定した用水を供給することが期待される。

土地改良区では、発電所に「メガソーラーひまわり」という愛称を付け、子供たちの環境学習にも役立てていくこととしている。



来賓者による発電スタート



ソーラーの写真

- 【事業概要】**
- 事業名：小水力等再生可能エネルギー発電施設整備事業
 - 設置場所：河北郡内灘町湖西
 - 敷地面積：3.7ha
 - 総事業費：7億3千万円
 - 工期：平成27年3月～平成28年8月
 - 最大出力：1,900kw
 - 年間発電量：約1,700MWh
 - 太陽光パネル：7,904枚
(縦1m×横1.65m/枚、250w/枚)
 - パネル総面積：約1.3ha

いしかわ多面的機能発揮推進協議会だより

～vol.22～

花植えと稲刈体験

●●グリーンネット八田●●

○道路に彩りを



花植えの様子



開花したマリーゴールド

7月3日、金沢市八田町内の広域農道沿いで花植えを行いました。この運動は、地域の景観美化への理解を深めてもらう目的で取り組んでいるもので、当日はあいにくの天候にも関わらず、町内の老人会、子供会、青壮年部、女性部、土地改良区など約100名が作業に参加しました。植えたのは、マリーゴールドの苗4,500株で、7月中旬頃には、黄色やオレンジに色づいた花が道路を行き交うドライバーの目を楽しませていました。

○稲刈り体験

9月4日、金沢市八田町内において、稲刈り体験が行われ、町内の子供会、青壮年部など約60名が参加しました。はじめに、グリーンネット八田の小林代表（八田土地改良区理事長）が稲の刈り方を説明した後、子供達は鎌を手に黄金色に実った稲穂を次々と刈り取りました。初めての挑戦に「難しかった」という声もありましたが、農作業を体験できる良い機会となりました。



稲刈りを体験する児童たち

“21創造運動”いしかわだより

軽海用水を美しく！

●●● 水土里ネット小松東部 ●●●

水土里ネット小松東部は、6月25日、小松市八幡から軽海町までの約1.4kmの区間で軽海用水の清掃ボランティアを行い、近隣住民、小松市立高校、小松商業高校の生徒及び水土里ネットの役員・総代、行政の職員など約150名が参加しました。

この取り組みは、およそ500年の歴史を持つ軽海用水が、農業用水だけでなく生活排水、消雪、防火用水などにも利用されていることから、その役割を地域住民に理解していただくため、水土里ネット小松東部が平成19年度から始めました。参加者は、用水路内の泥上げほか、日頃、通学や散歩に利用している用水路沿い遊歩道の花壇に花苗を植栽し、維持管理の大切さに理解を深めました。



清掃活動に汗を流す参加者

水路を「花いっぱい」に

●●● 水土里ネットかほくがた ●●●

水土里ネットかほくがたは、7月1日、津幡町渦端の私立さくら保育園で「花いっぱい運動」を行いました。この取り組みは、水土里ネットの役割と環境美化のPRを目的に、同保育園の協力を得て平成16年度から続けています。

園児65名がマリーゴールドやサルビアなど4種280株の花苗をプランター100個に植え、保育園前を流れる農業用水沿いを彩りました。



プランターに花苗を植える園児

35万本のひまわりが開花！

●●● 河北潟水土里ネットかんたく ●●●

津幡町湖東の河北潟干拓地「ひまわり村」で7月28日、「ひまわりフェスタ」（事務局：河北潟水土里ネットかんたく）が行われ、5月に種まきを行った園児や県及び市町などの関係者約220名が出席し、ひまわりの成長を祝いました。

ひまわり村は、子どもたちが農業に親しみ、ふるさとへの慈しみの心を育んでもらうことを目的に毎年実施され、今年で21年目を迎えました。

フェスタでは、ひまわり村村長の矢田富郎津幡町長と中田峰示県農林水産部長が挨拶し、園児による遊戯アトラクションや関係



満開のひまわり迷路



種まきの様子

者・園児代表者によるテープカットが行われました。ひまわり迷路の散策では、高さ2m近くの花のアーチを元気よく進み、コース途中に設けられた展望台では、一面に広がる黄色のじゅうたんに歓声をあげる姿が見られました。ゴール後は、干拓地で穫れたスイカがふるまわれ、園児たちは次々と乾いた喉を潤していました。

この他、休日には迷路内をトロッコが走る催しや、昨年に引き続きライトアップが実施され、多くの人で賑わいました。

柴山潟堤防クリーン作戦

●●● 水土里ネット三湖・水土里ネット加賀 ●●●

8月6日、加賀三湖地区管理体制整備推進協議会（事務局：水土里ネット三湖）が加賀市柴山町地内で柴山潟堤防の清掃活動を行いました。

この活動は平成13年度から継続されているもので、土地改良区が管理する柴山潟締め切り堤防の清掃活動を通じて柴山潟の環境美化を目的に行われています。本年度もゴミ拾い活動への協力を呼びかけ、両水土里ネット組合員、北陸農政局OB、北陸土地改良建設協会の会員、地元企業、一般住民及び本会職員など141名が参加し清掃活動に汗を流しました。

参加者は炎天下のなか、ゴミ袋を片手に潟から流れてきたペットボトル、空き缶等のゴミ拾いや雑木処理を行いました。収集されたゴミ230kgは事務局で分別した後、加賀市の協力のもと無償で処理されました。



用水の歴史を紙芝居で紹介

●●● 水土里ネットかわらいち ●●●

水土里ネットかわらいちは、8月19日、津幡町浅田の浅田集会所で、江戸時代中期に金沢と津幡を結ぶ用水の整備に尽力した中橋久左衛門を紹介する紙芝居を地域の児童など約20名に披露しました。



今井事務局長の手作り紙芝居

この紙芝居は、3年前に同水土里ネットの今井一明事務局長が手作りしたもので、10枚の絵で構成されています。物語は、当時、水不足で苦しんでいた津幡（旧浅田村）で十村役を務めていた久左衛門が金沢の河原市から25年の年月をかけて延長約13キロの浅田用水（現河原市用水）を造成した苦勞が描かれたもの。当日は、久左衛門の供養祭でもあり、児童たちは久左衛門を偲ぶとともに、紙芝居を通して先人の苦勞と用水の大切さを改めて学びました。



七ヶ用水の役割を学習

●●● 水土里ネット七ヶ用水 ●●●

石川平野排水対策促進協議会（事務局：水土里ネット七ヶ用水）は、8月20日、「七ヶ用水探検ツアー」を開催し、白山市、野々市市の小学生親子40名が参加しました。

参加者は、大水門や展示施設がある「白山管理センター」を訪れ、水土里ネット七ヶ用水の職員から用水の歴史と農業用水以外の身近な役割について説明を受けました。最初に見学した「大水門、隧道、給水口」では、明治36年（1903）に造成されてから



七ヶ用水発電所

100年以上経った現在も利用されていることから、平成26年9月に国際かんがい排水委員会の「かんがい施設遺産」に登録された農業水利施設であると説明がありました。

その後、農業用水を利用した環境にやさしい「七ヶ用水発電所」を見学し、松任梨の収穫を体験しました。参加者は、農業用水の様々な役割を改めて知り、身近に感じていました。



白山管理センター

作品募集のお知らせ

「疏水のある風景」写真コンテスト2016

1. 題材

農業用水路などを含めた農村の景観や施設とともに生きる人々、生活の様子、疏水を活用した地域づくりなど

2. 応募方法

平成27年1月以降に撮影した未発表のもの、四つ切り又は四つ切りワイドのプリント
※応募票等詳細は、下記URLまで。

3. 応募締切 平成29年1月27日(金) 消印有効

4. ご応募・お問い合わせ先

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館4F
全国水土里ネット「疏水のある風景」写真コンテスト係
TEL 03(3234)5480 [ホームページ→http://www.inakajin.or.jp](http://www.inakajin.or.jp)

5. 主催者等

主 催：全国水土里ネット(全国土地改良事業団体連合会)・疏水ネットワーク
後 援：農林水産省



「成人の日の八幡堀」
(昨年度の最優秀賞作品)

平成28年度「ため池のある風景」写真コンテスト

1. 題材

農業用ため池（農業用水として貯留水の一部が現に使用されているため池。ただし、いわゆるダムと称されているものは除く）、農業用ため池を含めた農村の風景、ため池と棚田、ため池を管理する農家、ため池の四季など、自由。

2. 応募方法

四つ切り又は四つ切りワイド（その他サイズは審査できません。）
※未発表作品に限ります。※応募票等詳細は、下記URLまで。

3. 応募締切 平成28年12月31日（当日消印有効）

4. ご応募・お問い合わせ先

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館4階
全国水土里ネット内「ため池のある風景写真コンテスト」係
TEL 03(3234)5591 [ホームページ→http://www.inakajin.or.jp](http://www.inakajin.or.jp)

5. 主催者等

主 催：全国ため池等整備事業推進協議会
協 賛：全国土地改良事業団体連合会、各都道府県土地改良事業団体連合会



「月見草咲く堤防」
(昨年度の最優秀賞作品)

平成28年度 研修会等開催予定

本会が、今年度に予定している研修会は下記のとおりです。
開催日時などの詳細については、その都度ご案内します。

開催予定月	研修会名	受講対象者	開催場所
10月20～ 21日	2016ため池フォーラム in わかやま	県・市町・土地改良区・連合会職員・一般	和歌山県
11月9日	疏水フォーラム in 道前道後	県・市町・土地改良区・連合会職員・一般	愛媛県
11月7～ 9日	石川県農業農村整備事業推進協議会 県外研修	県・市町・土地改良区・連合会職員	愛知県・長野県
12月	換地計画実務研修	換地技術者	金沢市

※止むを得ない事情により、開催月の変更又は中止となる場合がありますので、ご了承願います。

非補助農業基盤整備資金のご案内

■非補助農業基盤整備資金とは

土地改良区等が国からの補助を受けないで実施する土地改良事業等に対して、株式会社日本政策金融公庫が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し低利子で融資する資金です。

なお、国の補助対象でない県又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

■融資の条件

○貸付対象者

土地改良区、土地改良区連合（事業主体となる場合に限る）、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む方、農業振興法人、5割法人・団体（農業集落排水事業等の農村環境基盤施設及び連絡道を対象とする場合）

○貸付限度額

地元負担額。

複数年にわたる事業の場合、各年度とも土地改良区等が当該年度に負担する額（最低限度額50万円）

○貸付利率

0.10%（平成28年4月20日現在）

※固定金利であり、償還が終わるまで適用される金利は変わりません。金融情勢により貸付金利は変動しますので、直近の利率は最寄りの株式会社日本政策金融公庫にお問合わせ下さい。

（金沢支店 Tel:076-263-6472）

○償還期限

最長25年（据置期間10年以内を含む）

○償還方法

元利均等償還、元金均等償還のいずれかを選択できます。

■融資対象事業

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道、畦畔整備、農地造成、農地保全、防災、維持管理、農業集落排水、飲雑用水施設など

農業基盤整備資金の金利改定について

下記のとおり4月20日付けで改定されましたのでお知らせします。

◎ 株式会社日本政策金融公庫（単位：%）

区 分	改 定
県 営	0.25
団 体 営	0.10
非 補 助	0.10

※災害については償還期間により利率が異なりますので、公庫にお問い合わせ下さい。

人事異動

○農林水産省農村振興局

平成28年6月17日付

局 長

佐 藤 速 水

平成28年7月1日付

農村政策部長

新 井 毅



おにぎりパワー

おにぎりはいつから作られていたのでしょうか。1987年（昭和62年）に石川県中能登町（旧鹿西町）の杉谷チャノバタケ遺跡で、弥生時代中期～後期（今から約2000年前）の竪穴住居跡から炭化したおにぎりが1個出土しました。平面は底辺が約5cm、他の二辺が8～8.5cmの二等辺三角形で、厚さは約3.5cmあります。表面には、不整形な圧痕があり、米の凝集の状況から明らかに調理・加工されたものです。

当時の鹿西町は日本最古のおにぎりが出土したことから、「おにぎりの里」として名乗りをあげ、町おこしの一環として6月18日を「おにぎりの日」（旧鹿西町（ろくせいまち）の6（ろく）と毎月米食の日の18日をあわせた）としました。現在では日本記念日協会に登録されています。合併後の中能登町では、古代米を生産し、「おにぎり」にちなんだ行事も町内各地でおこなわれてきました。昨年は、11月18日も町独自の記念日とし、年間を通じておにぎりを活用した米消費拡大や町の活性化を目的とした「中能登町『おにぎりの日』に関する条例」も制定しました。

この日本最古のおにぎりは、米粒の分析から、水稻品種のモチ米が蒸されたもので、その後、二次的に焼かれたものであるという結果が出ました。モチ米で二等辺三角形の形状から「チマキ状炭化米塊」と呼ばれています。

通常、お米のような有機物の植物遺体は日本の酸性土壌中では、跡形も無くなってしまう



日本最古のおにぎり
（中能登町杉谷チャノバタケ遺跡出土 チマキ状炭化米塊
石川県埋蔵文化財センター所蔵）

それでは、チマキ状炭化米塊は約2000年の間、どうして土のなかで保存されたのでしょうか。これにはいくつかの奇跡的な条件が重なりました。

- ①有機物の植物遺体が残るためには、低湿地遺跡と呼ばれるような常時水面下にあった場所に堆積するか、炭化して無機質になるなどの条件が必要になります。チマキ状炭化米塊も何らかの要因で、芯まで炭化し無機質化したことによって保存されたものです。
- ②形がわかる状態で炭化するには、本来の形のまま、直火ではなく火からやや離れたところで一定時間蒸し焼きにされるなどの条件が必要です。これを意図的に作ろうとしても、中身の米の芯まで炭化させるのはとても難しいのです。
- ③出土した炭化物はもろく、発掘時に破損することもあります。慎重に掘り出し、発掘後は、形を保つために保存処理が必要な場合があります。

このように、2000年前の日本最古のおにぎりはいくつもの難しい条件をクリアした上で、現在に残ったのです。

「和食」が2013年（平成25年）12月にユネスコ無形文化遺産に登録され、現在では、学校給食も一週間5日のうち約3.5日が米飯になりました。一方で、糖質制限ダイエット等が流行し、米食が敬遠される傾向もあります。

先日のリオデジャネイロのオリンピックで、日本は過去最多のメダルを獲得しました。その中で、卓球の福原愛選手は炊飯器を現地に持ち込み、メンバーにもおにぎりを作っていたそうです。卓球女子のメダル獲得の背景にはおにぎりパワーがあったのでしょうか。お米のパワーを見直してみませんか。

筆者紹介



小林園子氏

國學院大學大学院
修士課程修了
日本動物考古学会会員
現在、山田修路参議院
議員の秘書を務める。

連合会日誌

4月

- 5日 石川県立大学入学式 (県立大学)
- 12・13日 「農業集落排水施設に係る新技術普及研究会」
業務方針説明会及び総会
(浜松町カンファレンスセンター)
- 18日 H28北陸農政局管内NN担当課長等会議(第1回)
(広坂合同庁舎)
- 22日 第1回農業会議常設審議委員会 (県庁)
- 同日 七尾鹿島土地改良推進協議会第1回幹事会
(七尾市役所)
- 26日 会長・事務責任者合同会議 (全国都市会館)
- 同日 全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会
通常総会 (全国都市会館)
- 27日 地域環境資源センター H28第1回理事会
(地域環境資源センター)
- 同日 NN事業推進協議会要請活動 (農林水産省、議員会館)

5月

- 16日 石川県農業活性化協議会第1回通常総会 (県庁)
- 同日 いしかわ多面的機能発揮推進組織第10回通常総会 (県庁)
- 18日 北陸四県土地連協議会平成28年度通常総会
(七尾市和倉)
- 20日 石川県農政審議委員会 (県庁)
- 同日 石川県農林年次連絡協議会委員・幹事会 (農業会館)
- 23日 石川県農業会議平成28年度第1回理事会・
第2回常設審議委員会 (県庁)
- 同日 加賀南部地区土地改良区統合整備協議会
(加賀市土改区)
- 25日 石川県農業農村整備事業推進協議会通常総会
(農林会館)
- 同日 金沢市土地改良事業功労賞授与式及び総代会
(マリアージュ金沢)
- 26日 地域環境資源センター平成28年度定時総会 (航空会館)
- 27日 第27回河北潟周辺地域排水対策事業促進期成
同盟会総会 (石川県農林総合研究センター)
- 同日 河北郡市土地改良推進協議会平成28年度通常総会
(津幡町役場)
- 同日 小松能美土地改良協会平成28年度通常総会
(小松商工会議所)
- 同日 北陸農政局土地改良管理課関係管内担当者会議
(広坂合同庁舎)
- 30日 農業農村整備の集い (シェンバツハ・サボー)
- 31日 北陸四県土地連協議会中央要請 (農林水産省)
- 同日 石川県基幹水利施設管理協議会総会 (ホテル日航金沢)

6月

- 1日 農地・林地防災月間広報車出発式 (県庁)
- 2日 平成28年度第1回担い手育成農地集積推進会議 (地場産)
- 同日 石川県農業農村技術者協会総会 (地場産)
- 6日 再生可能エネルギー導入促進に係る説明会 (広坂合同庁舎)
- 8日 全国土地改良大会石川大会第1回実行委員会
(土地改良会館)
- 9・10日 平成28年度北陸ブロック災害技術検討会 (新潟県庁)
- 10日 石川県経営構造対策事業推進委員会
(県農林総合研究センター)
- 13・14日 農業農村整備の集い (津幡ほか)
- 15日 平成28年度定期総会
(農業農村整備情報総合センター) (KKRホテル東京)

- 17日 いしかわ小水力等発電推進協議会総会 (土地改良会館)
- 20日 石川県農業会議第61回通常総会・
第3回常設審議委員会 (県庁)
- 21日 石川平野排水対策促進協議会
平成28年度通常総会 (ランドホテル白山)
- 同日 石川県換地センター受益農地管理強化委員会 (農林会館)
- 同日 石川県土地改良管理指導センター
管理運営体制強化委員会 (農林会館)
- 23・24日 平成28年度土地改良管理指導担当者会議
(砂防会館別館)
- 同日 北陸地区農地集団化促進協議会通常総会及び
研究会 (ラマダホテル新潟)
- 24日 石川土地改良協会平成28年度定期総会 (松任産業会館)
- 同日 羽咋郡市土地改良推進協議会第64回通常総会
(羽咋市役所)
- 27日 宮田会計事務所による会計検証 (土地改良会館)
- 28日 平成28年度土地改良補償業務研修会
(愛知県産業労働センター)
- 29日 第38回石川の農林漁業まつり
第1回実行委員会幹事会 (県庁)
- 30日 石川県信用農業協同組合連合会第68回通常総会 (農業会館)

7月

- 5日 七尾鹿島土地改良推進協議会平成28年度通常総会
(七尾市役所)
- 6日 農業基盤課担当者会議 (県庁)
- 7日 いしかわの農地活用連絡調整会総会 (県庁)
- 同日 土地改良管理指導センター管理指導員会議
(土地改良会館)
- 14日 平成28年度土地改良施設維持管理適正化事業等
に関する説明会 (農林会館)
- 14・15日 集落排水(ストックマネジメント)研修会
(TKR新橋カンファレンスセンター)
- 21日 石川県基幹水利施設管理協議会施策提案
(農林水産省)
- 22日 石川県農業会議臨時総会・第4回常設審議委員会 (県庁)
- 25～29日 平成28年度北陸ブロック土地改良区体制
強化事業新規担当者研修会 (新潟県新潟市)
- 26日 平成28年度第1回監事会・理事会 (農林会館)
- 26・27日 第3回農業水利施設を活用した小水力等
発電事例発表会 (新潟県土連)
- 28日 ひまわり村フェスタ (河北潟干拓地)
- 28・29日 第58回土地改良団体職員研修会
(TKPガーデンシティ永田町)

8月

- 4日 日中土地改良技術交流セミナー (都市センターホテル)
- 9日 平成28年度土地改良区役職員研修会
(ホテル日航金沢)
- 同日 第38回石川の農林漁業まつり
第1回実行委員会、幹事会 (県庁)
- 22日 石川県農業会議第5回常設審議委員会 (県庁)
- 25日 平成28年度土地改良区体制強化事業
複式簿記促進研修会 (農林会館)
- 同日 七ヶ用水地区管理体制整備推進協議会
第1回協議会 (白山市)
- 26日 平成28年度土地改良区体制強化事業財務会計
実践向上研修会 (農林会館)
- 29日 講演会(大日ダム土地改良区連合) (ランドホテル白山)
- 31日 河北潟太陽光発電所「メガソーラーひまわり」
完工式 (井上コミュニティプラザ)

土地改良事業の相談は 水土里ネット いしかわへ

石川県土地改良事業団体連合会では、土地改良事業に関する相談及び助言・指導を毎月1日に行っています。窓口は右記のとおりとなりますので、お気軽にご相談下さい。

連絡先 石川県土地改良事業団体連合会
換地センター 及び
土地改良管理指導センター
(TEL 076-249-7181)

相談日 毎月1日

編集兼：金沢市古府1丁目197番地
発行 石川県土地改良事業団体連合会
電話 076-249-7181

印刷所：(株)谷印刷

